※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 404 |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 日本史探究 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「日本史探究」（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 「図説　日本史通覧」（帝国書院） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

講義形式の授業を中心としながら、必要に応じて課題学習、協働学習を実施する。定期テストや確認テスト、日々の課題で知識・技能の定着を図る。資料や映像などを通し、協働学習や課題探究の時間を取り入れることで思考力・判断力・表現力を育む。また、課題学習や協働学習や日々の授業、長期休暇中の課題などで学習に向かう意欲や態度を評価する。

## 2　学習の到達目標

・日本の歴史の変化にかかわる事柄についての知識や資料の活用技能を理解習得している。
・日本の歴史にかかわる事項について多面的・多角的に考察し、適切に判断し、表現することができる。
・よりよい社会の実現のために主体的に行動する態度を養い、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家・社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 日本の歴史の展開を理解するとともに、地理的条件や世界の歴史との関連を理解することができる。また、様々な資料を収集し、活用することができる。 | 日本の歴史から課題を見出し、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、考察したことを適切に表現することができる。 | 日本の歴史に対して関心をもち、課題に関して意識を高め、意欲的に取り組むことができる。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 原始・古代の日本と東アジア | 日本文化のあけぼの<br>ヤマト政権の成立と古墳文化<br>律令国家の形成<br>古代の国家・社会の変容 | a: 原始・古代の特色を示す歴史資料より、資料を読み取る技能を身に着け、その特色を理解する。<br>b: 原始・古代の特色について多面的・多角的に考察することができる。<br>c:歴史資料を意欲的に読み取り、考察をたてる態度が見られる。 | ワークシート<br>定期考査<br>定期考査 | ワークシート<br>定期考査<br>ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りワーク |
| 2学期 | 中世の日本と世界<br>近世の日本と世界 | 荘園公領制の成立と院政<br>中世の国家・社会の展開<br>中世国家・社会の変容<br>東アジア世界の変容と天下統一<br>幕藩体制の成立と展開<br>近世の国家・社会の変容 | a:貴族政治の変容、武士の政治進出から武家政権の成熟、発展に至る特色を理解し、それらを示す歴史資料を読み取る技能を身につける。<br>b:中世から近世の各時代の時代の転換の特色を多面的・多角的に考察している。<br>c:時代の転換に示す歴史資料を意欲的に読み取り、考察しようとしている。 | 定期考査<br>確認テスト<br>定期考査 | 定期考査<br>ワークシート<br>定期考査 | ワークシート<br>振り返りワーク |
| 3学期 | 近現代の地域・日本と世界 | 開国から倒幕へ<br>明治維新<br>近代国家の形成<br>両大戦間の日本<br>十五年戦争と日本<br>戦後日本の形成<br>グローバル化のなかの現代日本 | a:近代における対外的な政策の変化を歴史資料より読み取り、理解できる。<br>b: 歴史資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、表現できる。<br>c: 日本と他国のかかわりなどに関する考察や資料の読み取りに意欲的に取り組もうとしている。 | 定期考査<br>確認テスト | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りワーク |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度